

若手研究者コラムリレー

富田 幸祐 (とみた こうすけ)



プロフィール

日本体育大学オリンピックスポーツ文化研究所 助教(リサーチフェロー)
日本体育学会の専門領域: 体育史

神奈川県横浜市出身

2006年: 玉川学園高等部卒業

2010年: 甲南大学文学部歴史文化学科卒業 学士(文学)

2012年: 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻修了 修士(体育学)

2018年: 一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻修了 博士(社会学)

2018年度より現職

E-mail: k-tomita@nittai.ac.jp



わたしの研究

アジアにおける近代スポーツの歴史

研究のキーワードはスポーツと政治、アジア、近現代史になるのかなと思っています。ただ最近では所属のこともあり、オリンピックもキーワードとして浮上してきました。これら4つのキーワードが重なり合う点にあるトピックについて気が向くまま、赴くままに研究しています。

直近で一番の研究関心事は1960年代の国際スポーツ界の秩序編成にアジアスポーツ界が及ぼした影響です。60年代は、まだオリンピックが世界中の国・地域が一堂に会する唯一の国際総合競技大会ではありませんでした。オリンピックに参加しない／できない国・地域が多くあり、その理由も政治的、経済的、社会的と様々でした。アジアでは中華人民共和国や北ベトナムはオリンピックに参加する資格が無く、北朝鮮やインドネシアは64年東京オリンピックに参加出来ませんでした。またオリンピック(を掌握するIOCを)を批判し、別個の国際総合競技大会開催の試みも行われました。インドネシアが主導したGANEFO(新興国競技大会)は1963年ことですが、この時IOCはGANEFOの成功がアジア・アフリカの諸国・地域のオリンピックからの離脱を引き起こすのではないかと懸念していました。なぜこんなことが起きたのか? どういう過程を経たのか? その後どうなったのか?

素朴な疑問ではありますが、答えを見つめるにはオリンピック・ムーブメントのグローバルな展開と内部での協調と対立、国際社会の動向、アジア各国・地域の政治的思惑とスポーツの関係といったことの、それぞれの連関を意識して明らかにしていく必要があります。事実の解明については少しずつ進んでいますが、まだその学術的に意義のある答えに到達するためには時間がかかりそうです。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

必読

富田幸祐 日本における第10回極東選手権競技大会ボイコット運動の展開。体育学研究 61(1), 43-58, 2016 【2017年度日本体育学会奨励賞】
シュテファン・ヒューブナー著、高嶋航・富田幸祐訳 スポーツがつくったアジア。一色出版, 2017.

なんでも帳

思い起こせば大学生の頃は...

大学に入ったころは、司馬遼太郎や池波正太郎といった小説家たちの描く戦国時代のロマンに憧れていました。日本の中世史に一番の関心があり、1回生の基礎ゼミでは、村上水軍や戦国の城郭について発表していました。ところがその後、日本史のゼミに見事落選し、第二候補だった東洋史のゼミに入ることになります。振り返るにここが分岐点だったようです。研究室にふらっとお邪魔しても、忙しいそぶりを見せずお喋りしてくれる指導教員の「個人指導」は、私にアジアの中に日本があるということ痛感させ、私の興味関心を戦国の世のロマンからアジアのロマンへ、中世史から近代史へと移しました。そしてアジアの近代史で卒論を書くこととなんとも思うようになります。ゼミでの発表(=卒論のテーマ選び)では(たぶん)植民地、民族、独立運動、ナショナリズムなどをキーワードにいろいろと考えていました。アジアにおける独立運動、日露戦争の東アジアへの影響、高句麗論争と呼ばれる歴史認識問題などについて調べた記憶があります。しかし最終的に卒論のテーマとして選んだのは極東選手権競技大会という20世紀前半にアジアで開かれた国際総合競技大会でした。スポーツの歴史で卒論を書くと言った際の指導教員の顔はいまでも忘れられません。この極東大会に関する卒論はその都度、原型を全くとどめないほど加筆修正がなされ、修士論文、そして博士論文の一部にもなりました。なぜ卒論のテーマでスポーツにたどり着いたのか。その点はまた別の機会に。ひとまず興味関心が地理的に、時空的に、飛躍に飛躍して至った結果、この領域にたどり着くことになりました。どうぞ、よろしく願います。

○次回のコラムリレーは東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の「山田亜沙妃」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました!

→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taiikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村)

